

庁議の概要

開催日 平成 29 年 7 月 13 日（木）

◎項 目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内 容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

総務部が取りまとめた各部署等の今週の動きに関する資料を配付のうえ、各部署による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 北九州の豪雨災害の対応について

（危機管理部）

北九州豪雨による被災状況について、危機管理部が中心で現地を視察する。7月15日（土）から体制を組み、大分県の日田市と福岡県へ行く予定である。

（知事）

現地の状況ということであれば、日田市に限らなくてもいい。

平成26年に高知も線状降雨帯を経験した。高知市において、線状降水帯ができ、特に雨量が多かったのは鏡ダムの上流であった。鏡ダムでは、川が増水しているにもかかわらず、放水を行わなければならない事態となり、通常のマニュアルから切り離して、特別な措置を行った。

線状降水帯への対応は、高知でも重要な課題である。現地調査の範囲については、もう少し幅広く検討してほしい。

○ 高知城歴史博物館の入館者数について

（文化生活スポーツ部）

高知城歴史博物館の入館者数は昨日時点で99,844人となった。本日10万人を迎える見込みで、記念イベントを行う予定である。

夏休みに向けて入館者が拡大するよう取り組む。

○ 効果的な広報・セールス活動の展開について

（観光振興部）

台湾における知事のトップセールスで、台湾の企業27社が集まった。

まんが甲子園、よさこい、高知ファイティングドックスに関し、中央通信、中国時報、GTV新聞、テレビなど現地メディアによる報道が行われており、かなりの露出が図られている。現在台湾オフィスに、詳細な報道状況の調査を依頼している。

7月12日（水）門田文化生活スポーツ部長と台湾新竹県へ行き、MOUを締結した。8月5日（土）まんが甲子園の決勝の日から8月10日（木）までの期間、新竹県知事

が高知県に来られる。メディアへの露出が図られるので、しっかりと取り組んでいきたい。